



不登校の子どもと家族によりそう漫画家・棚園正一氏が登壇 作業療法の視点から『好きや夢中が人生を支える理由』を考える 夏休み無料公開講義を開催

日時：2026年8月21日(金) 13：30－15：30（受付開始13：00）

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス H402教室

定員：200名（先着順）参加無料・事前申込制、当日参加可能

京都橘大学（京都市山科区、学長：岡田知弘）では、8月21日(金)、漫画家・棚園正一氏を講師に迎え、夏休み無料公開講義「『マンガで読む 学校に行きたくない君へ』の著者と学ぶ－好きや夢中が人生を支える理由－」を開催します。本講義は、健康科学部作業療法学科の学生を対象とした特別講義を一般公開するものです。

棚園氏は、小学校・中学校時代に不登校を経験した自身の経験をもとに、不登校に対する支援のあり方や当時感じていた想いについて各地で講演されており、不登校当事者やその家族によりそい支援を続けてこられました。今回の公開講義では、不登校の子どもがどのような気持ちで毎日を過ごしているのか、自分の強みや自己肯定感をどのように伸ばすことができるかなど、当事者だった自身の体験をお話しいたします。

不登校の背景には多様な要因や心の葛藤が存在しますが、作業療法ではこうした心身の不調や生きづらさを抱える人々によりそい、自分らしい生活を支える支援も行っています。棚園氏の講義を通じて、「好き」や「夢中」が生きたい気持ちや人生を支える大きな力となることを学び、作業療法の視点から支援のあり方を考える機会にしたいと考えています。

【公開講義 開催概要】

開催日：2026年8月21日(金) 13：30－15：30（受付開始13：00）

場所：京都橘大学 アカデミックリンクス H402教室

定員：200名（先着順）参加無料・事前申込制

講師：棚園正一氏（漫画家）

申込フォーム

申込方法：申込フォーム



進行予定：

13：30 開会
13：45 棚園氏講義
14：45 トークセッション
15：00 質疑応答
15：30 閉会
15：40 アフタートーク
（自由参加）
16：30 終了

問合先（一般の方）：健康科学部 作業療法学科 真下いずみ研究室

メール：mashimo-i@tachibana-u.ac.jp

【登壇者プロフィール】

●棚園 正一（たなぞの・しょういち）氏

1982年、愛知県生まれ。小学校～中学校の9年間を不登校で過ごす。13歳の時に漫画家・鳥山明氏に出会い、漫画家を志す。大学入学資格（現 高卒認定）を取得し、名古屋芸術大学に進学。著書に、不登校だった自身の経験を描いた『マンガで読む 学校に行きたくない君へ』『学校へ行けない僕と9人の先生』などがある。



【司会・ファシリテーター】

●真下 いずみ（京都橘大学健康科学部作業療法学科准教授）

●取材・内容についてのお問い合わせ先

京都橘大学広報課 担当：立木、前川 TEL：075-574-4112 E-mail：pub@tachibana-u.ac.jp